

2021年9月16日

令和二年度草の根・人間の安全保障無償資金協力  
セントルシア福祉車両整備計画に関する引渡式

2022年9月16日、令和二年度草の根・人間の安全保障無償資金協力である「セントルシア福祉車両整備計画」に関する引渡式がセントルシアの首都カストリーズで行われました。被供与団体であるセントルシア赤十字社は、日本政府の供与額 35,090 米ドルの無償資金を利用して福祉車両を調達し、障害をもつ人々が医療ケアや自然災害時の対応を含めた社会サービスを受けられるようになることが期待されます。

本式典には、日本国大使館から鎌田康彦参事官、セントルシア赤十字社からフバート・ピエール総裁、テレンシア・ギラード事務局長、セントルシア障害者評議会(NCPD)からケルヴィン・ジュニア・バプティステ広報官、JICAセントルシア事務所から漆原ひとみ企画調査員、アヨデレ・ヒッポリテ事業担当官他が出席しました。

鎌田参事官は、今回の式典に対面で出席できたことに大きな喜びを表明し、セントルシアと日本は、ともに民主主義、人権、法の支配といった普遍的な価値観に基づき、良好で長期にわたる協力関係を築いてきたと述べました。更に、コミュニティレベルでのセントルシア赤十字社の活動と、赤十字社が障害者に提供できるようになった不可欠な支援を称賛しました。

ピエール赤十字社総裁はスピーチの中で、最も脆弱な人々の苦しみを軽減するとともに、慈善活動を促進するという赤十字の使命をさらに推し進めるための日本政府からの支援に謝意を表しました。

続いて、バプティステNCPD広報官は、セントルシアの深い友人である日本及びNCPDに対し長期に渡り協力関係を築いてきた赤十字社に感謝の意を表し、セントルシアの障害者は日々の生活の中で、サービスやインフラへのアクセスに関し困難に直面しているため、現地の障害を持つ人々は今回供与された車両から多大な恩恵を受けると説明しました。

ギラード赤十字社事務局長は、新型コロナウイルスの世界的流行により様々

お問い合わせ  
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班  
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222  
E-mail: [ecocoop@po.mofa.go.jp](mailto:ecocoop@po.mofa.go.jp)



な困難があったにもかかわらず、本件が無事完了できたことに触れ、日本政府からの支援に深い謝意を述べました。同氏は、ボランティアとスタッフにも感謝の意を伝え、NCPDとの協力体制が今後も継続することを望むと述べました。

日本政府は、今後とも両国の友好関係と相互理解を深めていくため、様々な分野でセントルシアに対する支援を実施していく考えです。





鎌田参事官によるリボンカットの様子



車椅子積載のデモンストレーション



鎌田参事官とバプティステNCPD広報官

お問い合わせ  
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班  
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222  
E-mail: [ecocoop@po.mofa.go.jp](mailto:ecocoop@po.mofa.go.jp)



お問い合わせ  
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班  
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222  
E-mail: [ecocoop@po.mofa.go.jp](mailto:ecocoop@po.mofa.go.jp)

